

南小だより

佐世保市立吉井南小学校

No.32 R. 5. 1. 2 3 (月)

文責：山口伸一郎

各学年で書き初めを実施しました。

1月11日(火)～13日(金)にかけて、各学年において、書き初めに取り組みました。本校では、「新しい1年のスタートとなるこの時期に、日本の伝統文化である書き初めにふれさせることで、子どもたちに新しい願いや希望を持たせる機会とする」ことを目的として、毎年実施しています。

今年も、1、2年生は硬筆、3～6年生は条幅紙を使用して、毛筆で行いました。課題は教科書の課題から選択したり、6年生のように「自身の今年の抱負(四字熟語)」を考えて取り組んだりする等、それぞれの学年の実態に応じて行いました。

いつもの書写の時間とはまた違った環境、雰囲気の中、どの学年も緊張感をもって取り組み、一人ひとりが集中して鉛筆やフェルトペン、毛筆を走らせていました。みんな集中して取り組んだため、書き上げた時には、思わず「ふっ」と息を吐く姿や腕・首・肩等を動かす姿が見られ、一画一画、一筆一筆にしっかりと息を込めて書き上げることができました。一人3枚という限られた枚数の中、子どもたちが真剣な表情で書き初めと向き合う姿から、「日本古来の伝統文化に触れることの有意義さ」や「物事に集中して取り組むことの大切さ」等について、あらためて実感することができました。

でき上がった作品は、しばらくの間、各学年の教室前廊下や階段掲示板等に展示し、他学年の子どもたちにも鑑賞してもらう予定です。ご家庭でも、お子様に声をかけていただき、がんばりを褒めていただければと思います。よろしく願いいたします。

これからも引き続き、本校では、地域をはじめとした伝統行事や文化に触れる機会を大切にしながら、教育活動を進めていきたいと思っております。ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



<初めての書き初め(1年生)>

みな集中して取り組んだため、書き上げた時には、思わず「ふっ」と息を吐く姿や腕・首・肩等を動かす姿が見られ、一画一画、一筆一筆にしっかりと息を込めて書き上げることができました。一人3枚という限られた枚数の中、子どもたちが真剣な表情で書き初めと向き合う姿から、「日本古来の伝統文化に触れることの有意義さ」や「物事に集中して取り組むことの大切さ」等について、あらためて実感することができました。

でき上がった作品は、しばらくの間、各学年の教室前廊下や階段掲示板等に展示し、他学年の子どもたちにも鑑賞してもらう予定です。ご家庭でも、お子様に声をかけていただき、がんばりを褒めていただければと思います。よろしく願いいたします。

これからも引き続き、本校では、地域をはじめとした伝統行事や文化に触れる機会を大切にしながら、教育活動を進めていきたいと思っております。ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

主体的に考え、実践する姿が嬉しいです。

朝から学校玄関の落ち葉を掃く作業をしていると、2年生の子どもたちが数名、「校長先生、手伝いましょうか。」と声をかけてくれます。12月の途中くらいから、ほぼ毎日のように声をかけ、手伝ってくれるようになりました。「無理はしなくていいけんね。いつもありがとうね。」と返すのですが、仲良く協力して掃き掃除をしてくれます。

この前は3年生の男の子が、登校後に運動場で一人でランニングをしていました。「どうしたの?」と尋ねると、「授業に集中するために、朝から体を動かしています。」という返事。「すごいね。がんばっているね。友だちも誘ってみるといいかもね。」と話をする、翌日には、友だちも参加して10名ほどで走っている姿がありました。

掃除もランニングも、どちらも、子どもたちが自分たちで主体的に考え、実践している行動であり、その姿勢が本当に素晴らしいなあと感じています。何事も、「やらされる」のではなく、「自らがやる気になって」実践する時こそ、本当の意味での力がついていくのではないかと考えます。新しい年を迎え、子どもたちには自分が立てた目標を確認し、その目標を達成するために、「自分が何をすべきか」ということをしっかりと考え、実践してほしいと思います。今年も、一人ひとりの子どもたちが、その力を大きく伸ばしてくれることを、心から願っています。

